

団体名		公益財団法人武蔵野市国際交流協会						
事業	指標名	在住外国人支援事業への外国籍市民参加促進			目標値	外国人支援事業への外国人の参加者拡大（対前年度増）	実績値	962人
	過去の実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	達成率	112.3%	達成状況	達成
	(単位:人)	1,559	749	857				
	取組内容	①コロナ禍においても参加しやすい環境を整えるため支援事業は、リモート参加及び現場開催を併用した「ハイブリッド方式」の導入や、現場開催のニーズが高いものについては広い会場の確保等を行った。 ②MIAを知ってもらい、その活動に興味を持ってもらえるよう、令和5年3月31日から武蔵野市への転入者に対して配布する資料に「MIA紹介リーフレット」を加えてもらった。						
	一次評価	コロナ禍以前の実績までは戻っていないものの、着実に参加者は復調傾向にあり目標は達成した。今後も各大学等への広報及び参加協力を図っていくと同時に、市民に対しても参加を呼びかけていく。						
二次評価	目標を上回ったことを評価する。引き続き、各大学等や市民への広報に努め、参加を促進できるよう取り組んでいただきたい。							
財務	指標名	収支相償の適正化			目標値	公益目的事業の収支差額を0円に近づける	実績値	- 2,825千円
	過去の実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	達成率	104.7%	達成状況	達成 (100%以上)
	(単位:千円)	-1,000	2,395	231				
	取組内容	①MIAまつりを新たな形態に変えた「多文化体験ウィーク」を昨年度に続き実施することにより、収支のバランスを図ることができた。 ②リモート参加及び現場開催を併用した「ハイブリッド方式」を導入するなど、感染防止に配慮しつつ現場開催を順次再開させることで事業の拡大を図った。コロナ後の「新しい生活様式」に即した形で事業の再開をすすめた。						
	一次評価	達成率は公益目的事業会計の支出と収入の割合によって算定した（支出額÷収入額）。「事業収益」については令和3年度から大きな増減はなかった。今後は収益の増加につながる事業展開を進めたい。						
二次評価	「多文化体験ウィーク」として感染防止にも配慮しつつ、新たな形式で収益事業に取り組んだことを評価する。来年度は収益を適切に評価できる目標設定を検討されたい。							
内部	指標名	MIA事業へのボランティアの参加促進			目標値	ボランティア登録者数の拡大（対前年度増）	実績値	253人
	過去の実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	達成率	100.0%	達成状況	未達成
	(単位:人)	370	268	253				
	取組内容	①当該年度に2年ぶりとなる日本語交流員ステップアップ講座を実施するなどボランティアの参加促進を図った。 ②ボランティアの資質向上のための研修を継続的に行い、また気軽に参加できるボランティアの案内についても随時行った。						
	一次評価	達成率は当年度人数÷前年度人数で算定しており、100.0%（前年度と同人数）となったが、前年度から増加していないため目標は未達成とした。ボランティア人数については減少傾向は収まったが今後も多様な人材を必要としており、コロナ禍で活動を控えていたボランティア経験者の復帰や新たな掘り起こしを図っていききたい。						
二次評価	日本語交流員ステップアップ講座や研修の実施、参加促進のための取組みを行ったことを評価する。参加者数は前年度同数と決して低くはないが、改めてボランティア参加者数の増加に向けた取組みを検討していただきたい。							